

平成 29 年 9 月 1 日 (金)

## 平林国彦博士講演会 ―真の国際貢献とは―



9月1日(金)に平林国彦博士を招聘し、LHR時に1年生対象、放課後南ラウンジで16時30分から2・3年生有志40名が参加する講演会を行いました。平林国彦博士は大町高校卒業後、筑波大学大学院で医学博士を取得し、脳外科医として勤務した後、国立国際医療センター国際医療協力局等を経て、現在ユニセフ東アジア・東南アジア・太平洋地域事務所保健・衛生部長の重責を担っております。自分と世界を変える力として、高校時代に志をもって常にそれに向かっていく力をつける事の大切さと実行力を身につける事、そして統合という大仕事、全校登山とアジアアフリカ難民支援運動の行事を岳陽高校に引継いだことで、それぞれの行事等により、智(核心をつき本質をずばり言える能力)・仁(相手を思いやる力)・貫(あきらめない力)・義(正しいことを見極め、行う力)・勇(正しいことを行うために奮い立つ力)・和(協力できる力)・寛(多様性、人との違いを受け入れる力)が身につけていく話をいただきました。放課後は、将来、医療・国際貢献等を目指す3年生が多く出席し、海外で働くための人間力とは何か、更なる高みを目指したアジアアフリカ難民支援運動に必要な事とは何か、学力の他に大学で学ぶために必要な力とは何かといった質問が出され、大変丁寧なお答えをいただきました。

